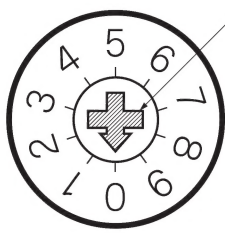


■操作法

- ・電源を投入し、点滅速度調節ツマミを右に回すと点滅速度が速くなり、左に回すと遅くなります。
- ・点滅方法は、切替スイッチでパターンが選択できます。ドライバーで回してください。



切替スイッチ
拡大図

このみぞにプラスドライバなどを
差し込んで回します。

- 0 : 3点1滅 順方向
- 1 : 2点2滅 順方向
- 2 : 1点3滅 順方向
- 3 : 3点1滅 逆方向
- 4 : 2点2滅 逆方向
- 5 : 1点3滅 逆方向
- 6 : 交互点滅
- 7 : 全点全滅
- 8~9 : 未使用

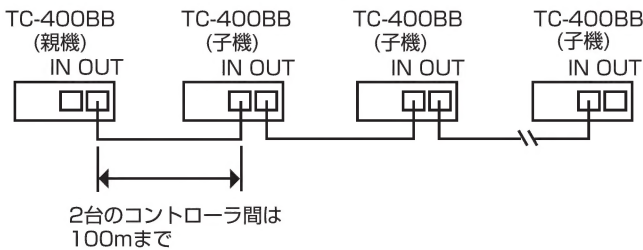
■通信機能について

- ・同梱の通信ケーブル[1m]で接続することにより、複数の点滅器の点滅速度を同調させて点滅させることが可能です。通信ケーブル接続ポートのINに何も接続されていないコントローラは親機となります。親機となるOUTから次の子機のINに接続します。さらに子機を増やし同調させる場合、次のコントローラも同様に接続します。最大20台までの接続が可能です。

※オプション

TC通信ケーブル TC-CBL10 ケーブル長10m

- ・コントローラ間の距離が長い場合、お客様の方で通信線(モジュラー2芯)をご用意ください。
屋外で使用する時は耐候性を考慮した管の中に入れてください。



⚠注意

- ・本製品を分解、改造することはおやめください。保証の対象外となります。
- ・本製品についた汚れは中性洗剤を軽く含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナーなどは使用しないでください。
- ・結線した後は高電圧のかかる絶縁測定器などで絶縁チェックを行わないでください。
- ・弊社の製品以外には使用しないでください。出力側のリード線をトランスやモータなどのインダクタンス負荷に接続すると、本製品や接続した器具が故障するおそれがあります。
- ・不具合が生じた場合は、お買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。
- ・本製品のヒューズホルダには出荷時15Aのガラス管ヒューズが内蔵されています。
- ・使用するテープライトなどの負荷が小さい場合、負荷の総電流の1.2~1.5倍の定格容量のヒューズ(最大15Aまで)を使用してください。負荷の総電流と同じ定格容量のヒューズでは、加熱して危険な場合があります。